

# 明日をつむぐ



社会福祉法人  
みなと福祉会報

Vol.74



2019年  
新春号

## みんなで初詣にいきました！



ことしもよろしく  
おねがいます！

特集

## 仲間たちをささえる人たち

詳細記事はP4～5

いつもありがとうございます。これからもおねがいます。

発行：社会福祉法人 みなと福祉会

〒455-0803 愛知県名古屋市港区入場1丁目114番地1

TEL. 052-355-8000 FAX. 052-355-8008 <http://www.minato-fukushikai.jp>



## 職員と利用者、家族の信頼を基礎に

### 一層の協力・共同を

社会福祉法人みなと福祉会理事長 高木弘己

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、あしたの家の開所を中心として、多くの協力をいただきありがとうございました。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、社会福祉法の改定への対応と当法人の新たな体制の確立、新事業の取り組みなど、新しい質と量の発展とともに困難も顕在化した時期でした。

第1には、新たな施設・事業拡大により200名をこえる利用者となり、年齢・重度・既往や家族状況など多様な利用者の要望に対する支援が必要とされ、また成果を重視した報酬改定の中で、法人の一層の力量の向上が求められました。第2には、「あしたの家」の運営で、入所施設建設が困難なもとの新しい経験、職員の努力は大変なものでしたが、まだまだ困難も多く今年には見通しを必ずつける必要があります。第3には、就労支援事業の取り組みで、新たなわーくす昭和橋の取り組みとともに、就労B型事業全体の見直しを検討され実践に移されてきています。この分野での販路を広げる努力とともに利用者の働く喜び、発達の促進、能力の向上、そして生活の向上につながる一層の創造的な学習と実践が必要です。第4には、法人強化と事業の継続の問題です。利用者

の希望に応えうる優れたサービス提供ができる人材、組織、経営をつくりあげるために、世代交代と幹部および中堅の定着と力量向上の課題があり、また職員と家族会との協力共同で、職員と利用者・家族会との互いの信頼を基礎にした日常的な関係を一層強める課題でした。

それぞれの課題を強める努力を職員、家族の協力で行ってききましたが、まだまだ到達点は十分なものになってはおりません。しかも今年度は、あしたの家の運営とさまざまなみの運営は当初の計画より大幅に困難を迎えました。これらの要因には、法人全体での計画・工夫や協力の度合いの不十分さがありますが、主には人材確保の困難が大きな問題です。現在、どの分野の事業においても人手不足は深刻な問題です。当法人でも、この問題で長年困難を抱えておりますが、特に最近はこのことが法人全体事業の運営、利用者の要望に応えるサービスの提供、職員の労働条件の改善などへの深刻な影響を与えるものとなってきています。今後、障害者福祉をめぐる状況の改善はみられないと言わざるを得ない状況の中では、運動の課題として一層の重視とともに、この点での法人の方針の大胆な見直しが必要と考えています。

国の社会福祉への対応は、国の責任と負担を減

らし民間企業の導入、障害者福祉への成果主義の導入です。社会保障費を削減することが最大の目的です。5年間で27兆円という膨大な防衛費の増額、アメリカの武器をアメリカの言うとおりに購入する。それを使っての自衛隊の海外派遣をおこなう国づくり、そして今年最大の問題である憲法9条の改定のうごきです。戦争の時代、障害者は常に抑圧されてきました。憲法は70年に及びますが、今の障害者の権利と生活があるのも憲法をよりどころにして意見を主張して民主主義、社会福祉、障害者福祉を拡充してきた取り組みの結果です。憲法を暮らしの中に生きたものとして根づかせる市民の取り組みが一層必要になり、現実に関わる切迫した状況になってきているといえます。市民一人一人が、他人任せでなくフェイクニュースに惑わされることなく、真実を学び発言し行動し、自らと家族そしてそれにつながる多くの市民とともに、手をつなぎ実践していくことが大切な状況・時代になっています。

法人においても、職員と家族会との協力共同で、職員と利用者・家族との互いの信頼を基礎にした日常的な関係を一層強め、一人一人が意見を出し合い、協力・実践し合う関係をぜひ築いていきたいと思っております。

おめでとう

# 成人を迎えた人たち

大人の仲間入りをした仲間たちを紹介します。



しおかぜ作業所

佐々木花奈さん

しおかぜ作業所に入所して2年目を迎えました。しおかぜ作業所では、いつもお弁当配達をがんばっています。「こんにちは」「ありがとうございます」と挨拶をしています。音楽が好きで、ことりの歌やサザエさんなどいろいろな歌を職員や仲間と一緒に歌っています。

まわりに愛されるかわいいお姉さんになれるように、健康で元気に過ごしていきたいです。



しおかぜ作業所

伊藤協留さん

伊藤協留です。しおかぜに来て2年目です。お弁当のはいたつや洗濯、はしの仕事をしています。時々「みなとーり（港区役所でのお弁当などの販売）」にも行きます。お仕事は楽しいです。のんびりマイペースでがんばっています。

将来の夢は、お姉ちゃんたちみたいなお嫁さんになりたいです。

イルカ作業所

吉田幸生さん

よくここまで成長しました。

しあわせですか、今？

だきしめたくなるその笑顔が

これからも曇ることがないように

うちゅうの神様に祈ります

きみに<sup>さち</sup>幸あれ！



うろじの家

杉藤優希さん

僕は、はしいれの仕事が好きなので、はしいれのお仕事をもっと頑張りたいです。うろじの家では行事がたくさんあるので一つ一つ楽しみたいです。他にも食べ物や、食事が好きなので好き嫌いしないで、いろんな美味しいものを食べてみたいです。これからも元気にうろじの家に通いたいです。



イルカ作業所

高橋辰昌さん

辰昌くん 二十歳おめでとう。産まれてすぐに保育器にお世話になり染色体異常と知り、辰昌を抱っこして夕日を見ながら泣いた日々を懐かしく思います。

大変なことを色々乗り越えて二十歳を迎えることができました。接して下さった方々に感謝でいっぱいです。これからも、ひとりでできることが増えるようサポートしていきたいと思っています。